

【講座のねらい】

講義及び受講者同士の協議等を通して、「令和の日本型学校教育」を担う「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた管理職の役割について理解を深める。

【研修後の姿】

「教師が創造的で魅力ある仕事であることを再認識し、誇りをもって働くことができる「学び続ける教員」を支えることを実現する管理職



「新たな教師の学びの姿」やその実現に向けたマネジメントについてのヒントが得られます。

【対象】 全ての校種の管理職

【定員】 32名

【研修日程・内容】

①3h

5/31

遠隔型研修Ⅰ「講義・協議」

- 学び続ける教員を支える教員研修
- 自校における教員研修の現状と今後の取組

6月～

職場実践

- 変化を前向きに受け止め、探究心をもちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」をもつ教員集団のマネジメント
- 研修ナビの活用

②2.5h

9/13

遠隔型研修Ⅱ「協議」

- 「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、教員一人一人の専門性の向上に向けたマネジメント



講師 ①独立行政法人教職員支援機構（NITS）理事長 荒瀬 克己 氏 ②各校種の校長

・令和4年度全国教育研究所連盟研究協議会（北海道大会 R4.10.28）全体会基調講演講師
・京都市立堀川高等学校長、大谷大学文学部教授等を経て現職。第12期中央教育審議会会長。